

## アジア獣医師会連合（FAVA）とアジア太平洋州医師会連合（CMAAO） 「ワンヘルス活動協力のための覚書」を締結 !!

藏内勇夫アジア獣医師会連合（FAVA）会長は、令和6年8月24日（土）にフィリピン・マニラで開催されたアジア太平洋州医師会連合（CMAAO）総会に出席し、「ワンヘルス活動協力のための覚書」を締結されました。



### 【藏内勇夫 FAVA 会長：挨拶】

アジア獣医師会連合（FAVA）の藏内勇夫です。

今日はアジア獣医師会連合の代表として CMAAO とワンヘルスに係る MOU を調印できることを心から感謝します。私はこれまで、希少野生動物の保護活動や災害時の動物救援活動や、人間、動物、環境の健康を統合的に向上させるワンヘルスの推進をライフワークとして取り組んでまいりました。

本日の MOU は、医師会と獣医師会の連携を強化する記念すべき第一歩であり、アジア・オセアニアがこの世界的な取り組みをリードするものです。

このパートナーシップを通じて、私たちはすべての人々の健康と福祉を確保し、次世代に素晴らしい世界を残していくことを目指しています。

この MOU に基づいてぜひ皆様と世界に貢献していきたいと思っております。

これからの皆様との取り組みを楽しみにしております。



マリア・ミネルバ CMAAO 会長



藏内会長 コラゾン FAVA 会計

## アジア・オセアニア医師会連合（CMAAO）とアジア獣医師会連合（FAVA）による One Health 活動協力のための覚書

2024年8月24日

アジア・オセアニア医師会連合（CMAAO）とアジア獣医師協会連合（FAVA）は、それぞれアジア・オセアニア地域の医療および獣医療の専門家で構成され、公共の利益に寄与する組織です。人間と動物の健康を向上させることで、人々の生活の質の向上に貢献しています。One Health の概念は、人間と動物が共存し、持続可能な社会と地球の発展を目指すものであり、生物多様性の保全と環境の保護を含みます。アジア地域は人獣共通感染症のホットスポットとして知られており、COVID-19 やインフルエンザなどの新興感染症の国境を越えた発生や、抗菌薬耐性（AMR）などの重大な課題に直面しています。これらの問題に対処するためには、CMAAO と FAVA の協力が不可欠とされています。さらに、One Health アプローチを進展させることが必要であり、人間と動物の健康を一体的に考慮し、地球環境の保全や安全で安心な社会の実現を目指すべきです。このようにして、人間と動物が調和して共存する社会を目指します。相互に利益ある関係が期待されることから、CMAAO と FAVA（以下「両当事者」とする）は、両当事者間で One Health 活動の協力を促進するために、本覚書を締結することに合意します。

### セッション1：グローバルな開発目標

両当事者は、人間医学と獣医学（医師および獣医師）を結びつけ、グローバルな健康の向上を目指して、「One Health」の概念のもとに協力することに合意します。また、One Health イニシアチブをさらに推進するために、実践的な活動をアジアおよびオセアニア地域で展開し、世界的に普及させることを約束します。

### セッション2：協力の範囲

この覚書で提案される協力の範囲には、次の事項が含まれます：

- 2.1 医学および獣医学部との共同教育イニシアチブを支援する。
- 2.2 人獣共通感染症や再興感染症の予防および封じ込めのための調査研究の枠組みを確立・維持し、感染源、伝播経路、および宿主管理に焦点を当てながら、情報の共有を促進する。
- 2.3 抗菌薬耐性が医療および獣医療にとって重大な脅威であることを認識し、抗菌薬の慎重かつ適切な使用に協力する。
- 2.4 生物多様性の維持と地球環境の保全を積極的に推進し、人間と動物が共存できる社会を構築する。
- 2.5 医学教育、臨床実践、公衆衛生、および生物医学研究の分野で医師と獣医師の協力を強化する。

### セッション3：ロゴの使用

CMAAO のロゴの使用は、事前に CMAAO から書面による承認を得た場合を除き禁止されています。同様に、FAVA のロゴの使用も、FAVA から事前の書面による同意を得た場合のみ許可されます。

### セッション4：最終条項

この覚書は、CMAAO と FAVA の間の友好的な協力と専門的な協力を反映しており、CMAAO と FAVA による署名により、両当事者間での合意を示します。

# 「ワンヘルス」国際連携強化

## 人と動物 感染症包括対策

Women in the Healthcare



アジア・オセアニア医師会連合との連携、協力で基本合意したアジア獣医師会連合の蔵内勇夫会長（中央）＝24日、フィリピン・マニラ

【マニラ稲田二郎】人獣共通感染症などの対策を押し進めるため、アジア獣医師会連合（FAVA）は24日、アジア・オセアニア医師会連合（CMAAO）との連携、協力で基本合意した。FAVA会長で福岡県議の蔵内勇夫氏がフィリピン・マニラで開催中のCMAAO総会に出席し、覚書を締結した。

## アジア・オセアニア 医師会と獣医師会が合意

環境の健全性を一体的に守る「ワンヘルス」を提唱、推進してきた。既に世界獣医師会（WVA）と世界医師会などでワンヘルス推進について基本合意済み。人獣共通感染症の拡大地域であるアジア・オセアニアで、大学の医学部と獣医学部が共同教育を推進するなど先進例を作り、世界に広げたい考えだ。

CMAAO総会で蔵内氏は「医師会と獣医師会との連携強化の記念すべき一歩だ」とあいさつ。「アジアから世界的な取り組みをリードする」と述べた。

2026年に日本人初のWVA会長に就任する蔵内氏は、ワンヘルス教育や、手洗い・うがいなど日本式の感染症対策を普及する意義を強調し「今後は地方と国、国際機関の連携が重要になる」と説明。福岡県みやま市に建設中の「県ワンヘルスセンター」（27年度中に供用開始予定）は感染症や家畜伝染病の研究、研究機関との調整役などを担う世界的にも新しい施設になるとしている。

西日本新聞・朝刊：2024年8月25日付

2024年8月30日

福岡ワンヘルス協議会・事務局